

小布施・地瓦を復活させる会

励まし

- ・ 金石瓦師様
淡路島は和瓦特産地です。彼の地でカワラマン山田脩二さんを紹介しますので、一度淡路へ！
- ・ “しろうとのやる気” 大きな力だと思います。 30代は瓦に全力投球 ステキです。
- ・ 全国的に地瓦（瓦って地域性があるって興味深い！）がなくなっている・・・小布施だけの問題ではないと、ハッとしました。
- ・ 小布施の達磨窯でよい地瓦が出来るようになったら、高田世界館の屋根瓦葺替えに使わせて下さい。
- ・ 「古い建物に似合わない！」という思い、我々尾道でもよく感じることもあり共感しました。焼きムラがあって、表情のある和瓦のなんとも言えない景観は、日本の原風景の大切な要素ですよね。瓦のみに限らず、いろんな建築素材が規格化、工業製品化してしまっている日本の社会に、私も疑問を感じています。
- ・ この日本に住みながら、瓦がどのような現状にあり、どのように作られているか、初めて知りました。金石さんの勇気あるチャレンジに感服です！ 今後の小布施がまた楽しみになりました。
- ・ 瓦を通じたまちづくりや人づくりを、是非すすめて下さい。瓦や景観は、皆のものだと思います。自己実現を通じて、目指す地域の実現も！！

質問と回答

Q . 小布施の皆様

瓦職人として自立するまで、何で生計を立てているのですか？

A . 今のところ生計は建設会社（主に古民家の修復）の社員として立てています。

将来、瓦つくり専門で生計を立てるつもりはなく、生計はあくまで今の会社での稼ぎによるつもりです。

というのも、瓦を専門で作ってしまうと、自身の人件費がすべて瓦の価格に載せられてしまうため、瓦が途方もなく高価なものになってしまうためです。

とはいえ、当面は採算度外視の試行錯誤が続きますが・・・